

代理店募集を強化

新たな収入源確保

あそしあ少短

あそしあ少額短期保険（東京都千代田区）

は、2021年にサービス付き高齢者向け住宅の入居者向け商品「Iemo one」を開発。事業者からの代理店募集を強化する。

Iemo oneは家賃保証、家財保険、収納代行が1つになったパッケージサービス。家賃保証は、管理費、共益費、食事代、生活

支援費、家財保険料を含む滞納賃料、残置物処理、訴訟費用、退去時精算費用が対象。

家財保険では、入居者の家財物と部屋の修理費用などを補償。特にサ高住では、トイレの紙おむつ詰まりによる漏水時でのニーズがあるという。グループ会社のクレデンスが家財保険の保険料を保証し、加入漏れを防ぐ。また、入居時に家賃の不払い・退去時精算費

用などにあてられる「敷金」を預からずにIemo oneを利用すれば入居者の初期費用が軽減され、入居の促進につながる。運営事業者が代理店としてIemo oneを販売することにより、新たな収入源を得られる。

「業務負担を軽減するほか、運営事業者にとっても、毎月賃料が安定して送金され、また家賃保証・家財保険の付保漏れも防止できるため、安定した経営につながります」（同社担当者）